

NIKKEI BUSINESS DAILY

発行所 日本経済新聞社

■東京本社 〒100-8066 ⅴ(03)3270-0251
 ■大阪本社 〒541-8515 ⅴ(06)7639-7111
 ■名古屋支社 〒460-8366 ⅴ(052)243-3311
 ■西部支社 〒812-8666 ⅴ(092)473-3300
 ■札幌支社 〒060-8621 ⅴ(011)281-3211

東京都千代田区大手町1-3-7
 大阪市中央区高麗橋1-4-2
 名古屋市中区栄4-16-33
 福岡市博多区博多駅東2-16-1
 札幌市中央区北1条西6-1-2


日経産業新聞

目の不自由な方を誘導する 竹中のセンサ

駅 病院 公共施設 などに

TAKEXの誘導チャイム

竹中エンジニアリング株式会社
www.takex-eng.co.jp/ 京都 ☎075(583)6800



経営者に占める女性の割合は日本は約1割。上昇傾向だが米国の3割や中国やシンガポールの4割に比べ低い。ロールモデルが身近にいないため起業に踏み切れない女性も多い。日本最大の女性経営者サークル「エメラルド倶楽部」を創設した、代表の菅原智美(46)は女性の起業を支援している。

請負人

起業を支える

「誰を知っているか、何を知っているかで人生が変わる」。そう考えて菅原は2009年、「エメラルド倶楽部」を設立した。経営者団体などで築いた菅原の人脉を財産に、10の本・支部に1000人を超える会員を抱える組織に育て上げた。

女性経営者 高め合う 頼れる交流会「数は力」

エメラルド倶楽部 菅原 智美氏(46)



菅原さんのもとには起業意欲が旺盛な女性たちが集まる

エメラルド倶楽部の本支部

	設立時期	会員数
東京本部	2009年1月	約730人
関西支部	10年9月	約60人
福岡支部	11年8月	約80人
東北支部	12年5月	約30人
千葉支部	12年8月	約30人
中部支部	12年12月	約20人
中国支部	13年3月	約20人
大分支部	13年3月	約20人
沖縄支部	13年8月	約30人
韓国支部	13年11月 (韓国の女性経営者クラブと提携)	

の一面から、ベニールブリ。そのとき知人に紹介で水浴びはしゃぐ、され、同倶楽部を頼った。子どもたちの声に聞こえ、菅原に電話したらすすに。大塚祐子が経営する司法書士と不動産業者、認可外保育所「なちゆな リース会社」や信用金庫を「ちゆ」だ。同じく大塚が紹介してくれた。

経営する美容整体「ナチ 最近、同倶楽部のセミナーに併設されている。ナチで新規株式公開(ＩＹ)を2年前、勤めていた整 理師(PO)を学んだ。「いま 体院を辞め自分の店を構 築した。初めての起業は 億円を目標にしている」 金調達や店舗物件探しな 全国6カ所です司法書士 どのわからないことばか 法人と行政書士法人を 書士の資格を持つ。同俱 楽部の会員から「10日 菅原、コスモグループ 新らしい会社の登記を完了 山口里美は同倶楽部を 「クラウドソーシング」 させたい」などと急な依 頼が舞い込むこともあ する。普通、1カ月程度か かる手続きだが「ビジネスチャンスを見逃さないよ うに」と全力で応援。

山口にとっても同倶楽 部は情報収集の場だ。会 員同士の会話からトレン ドをつかみ、自身のビジ ネスにつなげる。同倶楽 部に商機の種がある。

女性経営者だけが集ま るメリットについて「女 性だけで決断が早い」と 山口は指摘する。子育て や家事を抱える女性 営者は少なくない。貴重 な時間を惜しむ感覚は鋭 い。無駄な飲み会に流れ がちな男性とは違う。

菅原によると、地方で は「ビジネスを始めたい が家族が賛成してくれな る。グローバリ組織FCF E Mに、11月、日本の団体 女性起業を手助けた として初めて参加する。 い」という。女性を対象 グローバルに連携しつ につ、日本社会で女性活躍 の礎を固める。 敬称略 (桜井 肇)

融資充実、ノウハウでも支援

女性の起業を支援する性、若者シニア起業家 融資制度は増えている。支援基金」を設け、運 転している。「新創業融資 日本政策金融公庫は「女 資金や設備資金として 制度」でも女性を優遇す でも支援する。

仕事人

秘録

繁盛すると一人で切り盛りはできなくなる。早くも人を使うことの難しさに直面する。

大宮・北銀座(現さいたま市大宮区)の店は本当にもうかりました。店を始めて3年目くらいでしょうか、日商2万円ほどになりました。ラーメン1杯が100円以上になっていました。これでこの販売をやっていける、と確信しました。

岩槻(現さいたま市岩槻区)を去る際にいったん、別れていた弟(町田功・元ハイデイ日高専務)はずでに呼び戻してました。北銀座の成功で、多店舗化を考え、もう一人、妹婿の高橋均(ハイデイ日高社長)を誘いました。高橋は

夢のラーメン・ストーリー ④

ハイデイ日高会長
神田 正氏



多店舗化への第一歩が大宮・南銀座の店だった(右が神田会長)

人を雇う難しさを知る

当時、ラジオメーカーに勤め、南銀座のおにぎり屋で飲っていました。いざ自分居酒屋をやりたいと言いつつ、店情報を探してあげられませんでした。それで大家さんに連絡して、保証金は300万円で、想定より高かったです。40歳くらいまで、店を探しました。北銀座に比べてテナントが多い大宮というところ。それで生まれ、南銀座に出そと。あると初めて、手形を切りました。かしこりが、本当に難しい。

初期の頃の、人を雇う苦労が、従業員を大切にすることが、社風の源泉となった。弟たちを頼りにしたのは、やはり身内が一番信頼できたからです。40歳くらいまで、厨房で鍋を振っていました。いま、従業員に対して感謝する気持ちを持てないよう心掛けていますが、その原点には驚くような出来事やつらい思いがあります。

TDLハロウィーン全面刷新

オリエンタ
田中

東京ディズニーランド(TDL)のイベントが、3年ぶりに刷新された。テーマパークフェスティバルのフロアに乗ったキャラにぎやかな空気に、園内を巡るクリエイティブさんは「ラン マンスを見

働く

人や技術をつなぐ、足りない経営資源を補う、有望なベンチャーを発掘する……。ビジネスを展 望させ成長を支える人の 動きに焦点を当てて、企画「請負人」を随時掲載 します。